



～矢部保育園～

# 議会だより やめ

No.166 令和元年11月1日

■ P 2 **予算は適正に使われたか**

～平成30年度決算～

■ P 4 **委員会審査**

■ P 6 **ここが聞きたい!**

一般質問 **9人** の議員が登壇

■ P 15 **11月に意見交換会を開催**

去る8月27日から発生した記録的な豪雨、さらに台風19号によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。  
八女市議会

# 予算は適正に使われたか 平成30年度一般会計決算認定

## 9月 定例会

9月定例会では、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、平成30年度一般会計決算審査が行われました。

議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのか、また、どのような行政効果が発揮できたのかなど、その費用対効果を検証し審査するため、分科会（各常任委員会）で審査にあたりました。

### ＜決算を認定するにあたり指摘事項を市に提言＞

- ・がけ地近接等危険住宅移転事業補助金について、補助制度の周知徹底を図っていただきたい。

### 一般会計決算状況は

#### 黒字決算

#### 平成30年度一般会計

歳入総額 > 370億8617万円

歳出総額 > 358億8361万円

翌年度に繰り越すべき財源 2億3629万円

実質収支額 > 9億6626万円

#### 決算認定反対討論 要旨

財政調整基金は積み立てすぎと思われる。財産の差し押さえなどの強権的な手法ではなく、ファイナンシャルプランニング業務を充実させて税の滞納を減らすべきと考える。不公正な同和事業はやめるべきであるとする。

(森 茂生)

### 外国語指導助手派遣事業 2686万円

小中学校の外国語授業において、教師とともに英語を指導する助手を派遣します。

新年度すぐに事業が開始できるよう、今年度中に手続き期間を確保するため予算が補正されました。



#### 一般会計補正予算の主な内容

(関連「委員会審査」4〜5ページ)

9月定例会は、8月28日から9月20日までの24日間の会期で開催しました。市長より3億7557万5千円を追加する一般会計補正予算案や条例改正案、人事案などの議案が提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、平成30年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）が提案され賛成多数で本決算を認定しました。議員提出議案「国道3号広川〜八女バイパスの早期完成を求める決議について」が提案され、可決しました。今後は、広川町議会と要望活動を行っていきます。

(賛否表16〜17ページ)



# 公共施設の使用料・利用料金改正 ～料金の見直しは令和2年度から～

今回の改正は、令和元年10月1日から消費税率が10パーセントに引き上げられることや、合併以後の八女市における統一的な料金体系を構築するため、公共施設について定めている50本の条例について、使用料・利用料金等の見直しが行われました。



**問** 施設利用者からみれば負担が大きいのと思うが、利用者への周知などどのように考えているか。

**答** 当初は令和元年10月1日から見直しを行うことで進んでいたが、令和2年4月1日に延ばし、半年間を周知期間として設けている。

## 人事案件

### 公平委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

廣 津 洋 吉 氏

### 人権擁護委員

次の方を適任と認めました。

古 川 正 二 氏  
近 藤 義 夫 氏  
草 場 せ つ 子 氏  
平 島 豊 彦 氏  
東 ひがし リ ツ 子 氏  
酒 さか 井 たつ 彦 氏  
中 津 留 千 鶴 子 氏

## 林業振興費 8094万円

森林が有する公益的機能(木材の生産、水質浄化や水資源貯留など水源の涵養、土砂災害の防止、二酸化炭素吸収など)を長期的に発揮できるよう間伐などの森林の整備を行います。



## 地域密着型施設等整備補助金 2900万円

対象となる介護保険施設を民間事業者が整備するにあたり、その経費を補助します。



厚生

総務文教

審査の主なもの

- 令和元年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全員賛成で可決】
  - ・介護保険事業費 2954万円
  - ・児童給付費 5003万円
- 平成30年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【全員賛成で認定】

審査の主なもの

- 八女市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について 【賛成多数で可決】
- 令和元年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全員賛成で可決】
  - ・債務負担行為(外国語指導助手派遣事業) 2686万円
  - ・安全安心対策費(老朽危険家屋等除却促進事業補助金) 300万円
- 平成30年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【賛成多数で認定】

幼児教育・保育無償化いよいよスタート

**問** 幼児教育・保育無償化システム改修業務委託料の内容は。

**答** 現在使用しているシステムについて、無償化に伴い追加されるメニューの改修作業に対する委託料である。

**問** 幼児教育・保育無償化に伴い、無償になる人数は。

**答** 現段階では、保育料については1821人、

副食費については475人が無償になる見込みである。

**問** 地域密着型施設の整備へ補助とは

**答** 詳細な内容は、地域密着型施設の開設に伴う補助金として、1310万6千円を予定している。1社の応募があり、既存の保育所を小規模多機能型居宅介護施設に改修するための費用

及び開設の準備費用を補助するものである。また、地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金として、1589万4千円を予定している。4事業所を見込んでいるが、3事業所は、認知症高齢者グループホーム等の改修に対する補助で、1事業所は、高齢者施設等防犯対策及び安全対策強化事業の補助である。



▲保育園の運動会のような様子

外国語指導助手(ALT)派遣事業とは



▲外国語指導助手による英語の授業

**問** 派遣と委託の違いは。

**答** 英語の授業は、担当教員とALT(英語を母語とする外国語指導助手)で行うが、業務委託では学校と業者の間で事前に授業の打合わせ等を行い、担当教員が直接ALTに指示ができない契約になっていた。

派遣契約では、ALTと担当教員で授業について話し合いながら変更が

でき、より充実した英語の授業ができる。

**問** 小学校の教員は、新しい指導要領に沿って研修を受けているとのことだが、研修を終えて教員が英語を指導できるようになってもALTの派遣を続けるのか。

**答** ネイティブ(英語が母語である)発音を学ぶ目的で行うため、年限を区切って任用するもので

はない。

**問** 老朽危険家屋等除却促進事業補助金について

**答** 今年度の解体予定の件数は、7月までに10件の補助金の申し込みがあり、現在7件程度の問い合わせ、解体前の事前調査の申し込みがあつている。10件分の補助金を補正予算上し、今年度予算は20件分となる。

# 議会の動き

## 8月

- 1日 全国市議会議長会建設運輸委員会  
新庁舎建設特別委員会行政視察
- 7日 全員協議会  
タブレット端末研修会  
市民と議会の意見交換会正副班長会議
- 9日 新庁舎建設特別委員会行政視察
- 19日 建設経済常任委員会行政視察～21日
- 21日 総務文教常任委員会
- 22日 新庁舎建設特別委員会
- 23日 議会運営委員会  
厚生常任委員会
- 26日 行政区長会との意見交換会
- 28日 令和元年第5回定例会(招集日)  
全員協議会  
議会運営委員会
- 31日 市民と議会の意見交換会(分野別)

## 9月

- 2日 本会議(一般質問)～4日
- 4日 本会議(議案審議)  
全員協議会  
予算審査・決算審査特別委員会全体会  
議会だより編集委員会
- 9日 各常任委員会・分科会～10日
- 10日 災害復旧に関する要望活動
- 13日 新庁舎建設特別委員会  
建設経済常任委員会所管事項調査
- 18日 予算審査・決算審査特別委員会全体会  
議会運営委員会  
汚水処理対策特別委員会
- 20日 令和元年第5回定例会(最終日)  
全員協議会
- 26日 議会だより編集委員会視察研修
- 27日 新庁舎建設特別委員会

## 10月

- 1日 新庁舎建設特別委員会  
県南市議会議長会
- 2日 全員協議会  
市民と議会の意見交換会正副班長会議  
タブレット端末末活用専門部会
- 3日 議会だより編集委員会
- 9日 厚生常任委員会行政視察～11日
- 15日 議会だより編集委員会
- 16日 福岡県市議会議長会  
総務文教常任委員会所管事項調査  
厚生常任委員会所管事項調査
- 17日 新庁舎建設特別委員会
- 28日 総務文教常任委員会行政視察～30日
- 29日 森林・林業・林産業活性化九州大会
- 30日 筑後六市議会議長会研修会～31日  
全国議員フォーラム研究大会～31日

# 建設経済

## 審査の主なもの

- 令和元年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【賛成多数で可決】
  - ・農地費 7241万円
  - ・林業振興費 8094万円
  - ・道路新設改良費 3200万円
- 平成30年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【全員賛成で認定】
- 平成30年度八女市水道事業会計決算認定 【全員賛成で認定】

## 八女市の森林をどのように守るのか

**問** 所有者と市町村は事業実施に関して協定書を締結しなければならぬ。

ある林地を調査し、その所有者と協議を行っている。違約金に関する部分、森林所有者のメリツトやデメリットになることを説明し、十分に理解をもらい事業を進めている。

**問** どういう順番で決めているのか。

◀整備前  
木々が込み合い生育が損なわれる状態

金もあるが大丈夫か。

98ヶ所のため池において、貯水規模が大きく、民家などへの影響が想定される箇所について、関係者と協議を行っている。

**答** 市内にある

協定締結後の林地については、伐採や開発等による転用が制限される。

**問** ため池の整備はどの分か。

**答** この事業は木屋地区のため池1ヶ所と本地区のため池2ヶ所を予定している。

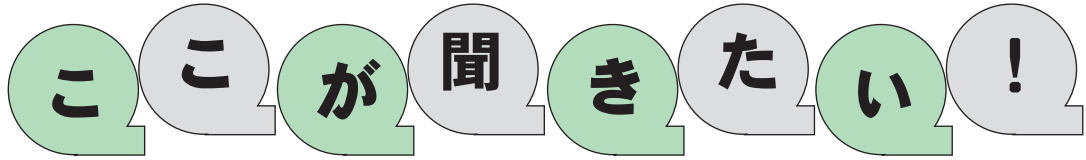
この事業は100%県補助であり、すでに荒れている森林や自力で整備ができないという恐れが

この事業は木屋地区のため池1ヶ所と本地区のため池2ヶ所を予定している。



整備後▶  
日光が差し込むようになった森林





一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等でご覧ください。

# 一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
牛島孝之	1 公立八女総合病院の今後について 2 八女市の職員としての服務規程及び庁舎内の室温について 3 八女市の教育及び文化に対する考えは	7
高橋信広	1 人口減少対策について ～まち・ひと・しごと創生基本方針2019に向けて～ 2 行政改革について	7
石橋義博	1 新庁舎問題について 2 公立病院の問題について	8
堤康幸	1 免許証返納と高齢者運転者支援について	8
青木勉	1 第4次八女市総合計画（後期基本計画）について 2 福岡県立ふれあいの家南筑後の活用方法について	9
松崎辰義	1 介護保険について 2 交通安全対策について 3 同和行政について	9
大坪久美子	1 高齢者のごみ出しの支援について	10
三角真弓	1 行財政運営について 2 ゴミ回収の在り方について 3 各支所での生活相談への質の向上について	10
森茂生	1 林業振興について 2 国民健康保険税について	11

# 公立八女総合病院の新築移転について八女市の考えは



牛島 孝之

**答** 企業団の提案を踏まえ協議を進めていくことになる

**問** 公立八女総合病院についての、市民説明会を開く考えはあるのか。

**答** 必要があれば、公立八女総合病院が主体となって説明会を開催されることを考えている。

**規程について**  
八女市の職員としての服務規程について

**問** 職員の服装についてのどのような規程があるのか。

**答** 基本的な考えとしては公務員としての信頼を損なわないよう、節度と品位を保ち、清潔感のある服装を心がけることとしている。



**問** 八女市の教育及び文化に対する考えは

**答** 文化人の顕彰に対する考えは、地元で眠っている文化人等について市民の皆さんから情報提供していただいで、調査・研究を進めていきたい。

**問** 地域に埋もれたような方、そういうことをきちと顕彰していくことが必要ではないか。

**答** 次の世代に継承していく事、この事は極めて大事なことだと思っっている。十分教育長と話をしながら進めていきたい。

**問** 関係人口の創出・拡大を

**答** 結婚サポートセンターを利便性の良い場所への移転について協議されているのか。

**答** 協議会の中では、問題点の一つとして捉えており、筑後市の交通の利便性が高い場所の移転を検討している。

**問** 当市にとつての関係人口とは。

**答** 具体的には、市外に住む当市の出身者、ルーツがある人や当市に何らかの関わりがある人、過去に勤務、居住、滞在を経験された人など捉えている。



高橋 信広

第2期まち・ひと・しごと総合戦略に向けて、どのような考えで取り組むのか

**答** 今年度、第1期総合戦略を検証しながら、第2期に着手したい



**問** 最たる関係人口に当たる、親が当市に住み、子が市外住居の人が、親元に同居か近居する場合の補助金を検討できないか。

**答** 効果、コスト等を含めて、予算編成に向けて事務的な検討を進めたい。

**問** 市民会館と文化会館の方向性は

**答** 指定管理者制度の公

**表はいつになるのか。**

**答** 近隣自治体の公表状況を踏まえ、可能な限り早い時期に公表する方向で検討している。

**問** 指定管理者制度導入に向けて、市民会館と文化会館の調査・研究の結果と方向性は。

**答** 調査・研究が終了し、関係協議を行い、今年度中に方向性を定めたい。

**問** 電力調達額の削減策として久留米方式があるが、調査研究に行ったことはあるのか。

**答** 久留米方式は知っているが、この件で伺ったことはない。

## 新庁舎問題について、庁舎周辺の防災対策が不十分ではないか

**答** 十分に検討して対応していくつもりである



石橋 義博



八女市役所本庁舎



公立八女総合病院

**問** 8月の豪雨で新庁舎予定地の周辺が冠水、浸水被害で庁舎に近づく事すら出来なかったが、ここは従来より被害地で住民より冠水、浸水対策を求められており、その中において防災本部としても拠点となる場所が新庁舎となるのはふさわしいと思えないが。

**答** 新たな場所への移転の考えは持っていないが冠水、浸水に対しては相応の対策を施し、そのための検討は充分にしている。

**問** 街中の空洞化や活性面では懸念もあるが市は総体的に考えるべきではないか。

**答** 様々な事案に取り組み、検討しながら進めていきたい。

**問** 8月の豪雨で新庁舎予定地の周辺が冠水、浸水被害で庁舎に近づく事すら出来なかったが、ここは従来より被害地で住民より冠水、浸水対策を求められており、その中において防災本部としても拠点となる場所が新庁舎となるのはふさわしいと思えないが。

**答** 新たな場所への移転の考えは持っていないが冠水、浸水に対しては相応の対策を施し、そのための検討は充分にしている。

**問** 街中の空洞化や活性面では懸念もあるが市は総体的に考えるべきではないか。

**答** 様々な事案に取り組み、検討しながら進めていきたい。

**問** 高年齢者運転免許証自主返納事業の状況は。

**答** 平成30年度が426人、本年度7月までに161人、合計587人である。また、交付したタクシードライバーの返納率は、平成30年度末で利用率が19・15%、今年度7月末で21・72%となっている。

**問** この事業は、高年齢運転者の事故防止という点では究極の策であるが、返納後の生活等の実態調査はされているのか。

**答** 返納者のその後の状況ということでは、まだ行ってはいない。

**問** 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

**答** 支援装置の安全性の見極め、他自治体の状況を見ながら取り組みを深めていく。

**問** 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

**答** 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部に十分研究させたい。

**問** 産業振興や集落運営において高齢者の役割は、非常に大きい。他自治体では支援を始めているところもある。効果が期待できる具体策が求められているが。

**答** 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部に十分研究させたい。

**問** 免許証の返納は、心身ともに影響が大きい。心豊かな生活を維持するために、安全運転支援装置取付等、返納前の支援が重要であり必要と考えるが。

**答** 総合的に自主返納ができる環境づくりを、担当部に十分研究させたい。



堤 康 幸



県道の影切り作業中

**答**

今後、総合的に考え、事業導入の際には研究していく

高齢者の充実した日常生活のためには、免許証返納前の支援が必要では



## 国道3号バイパス構想の整備促進の取り組みと現状について



青木 勉

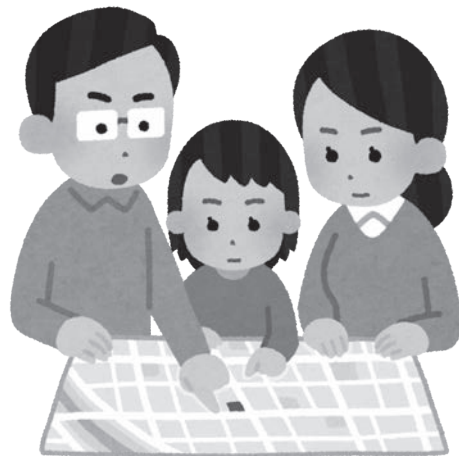
**答** 重要な課題として早期実現に向け要望していく

**問** 防災体制の充実についてどのような取り組みを考えているのか。

**答** 防災計画の中で、防災拠点整備を今後、十分検討する。

**問** 市民提案型まちづくりの予算と実績はどうか。

**答** 今年度予算700万7千円、昨年度の実施個所12件で助成額640万5千円である。



防災公園を誘致して災害に強いまちづくりを

**問** 市民活動の育成でNPOなどの団体数はどのくらいか。

**答** 現在、市内のNPO法人数は29団体である。

**問** 県立ふれあいの家南筑後の存続と活用方法は。

**答** 福岡県より、正式に更新の説明や協議がないため、八女市の考えを述べるのは控える。

**問** 消費税が増税される前に、食料品をはじめとして、いろいろ物が値上げされていて高齢者世帯には厳しい状況になっている。これをどう捉えているのか。

**答** 消費税増税に先立って、生活必需品等の値上げが相次ぎ、低所得者層の介護保険料に対する負担感は配慮すべきものがあると思う。

**問** 認識は一緒だから、低所得者に対し、保険料の減免を拡充すべきではないのか。



松崎 辰義

**答** 制度の運営を考える必要と、慎重に判断する必要がある。

**問** 今回は今年度分の保険料の減免をお願いしている。

**答** 担当部局と研究して結論を出したい。

**人権問題について**

**問** 意識調査を5年毎におこなっているが、人権



**答**

八女市介護保険事業計画等策定委員会の中で検討していく

今後、介護保険の保険料や利用の減免について、十分検討すべきでは

**答** 制度の運営を考える必要と、慎重に判断する必要がある。

**問** 今回は今年度分の保険料の減免をお願いしている。

**答** 担当部局と研究して結論を出したい。

**人権問題について**

**問** 意識調査を5年毎におこなっているが、人権

**答** 今から内容については、他自治体、県や国の状況等を見ながら検討していく。

## 介護が必要な人や障がい者の家庭ごみの個別回収をやるべきでは

**答** 広大な本市において現在のところは考えていない



大 坪 久 美 子

**問** 地域においては住民、行政、関係団体が協働し、多様な福祉課題への取り組みを進めることが求められている。年々高齢者のみの家庭も増え、収集所まで持っていくのが困難になったとの意見が多く寄せられるようになった。このことは地域包括ケアシステムから考えても、環境課だけの問題ではなく、行政全体で取り組む時代になってきていると思うが協議は進んでいるのか。

**答** 地域振興会議等の中では、ごみ問題に関して

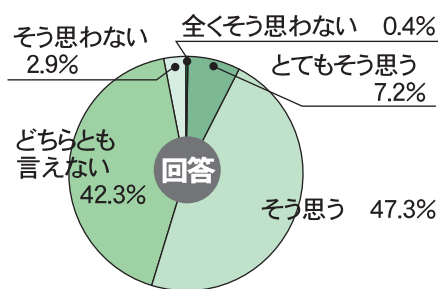
**問** 個別訪問を考えていないなら、隣近所とか、お互いのボランティアが必要となるので、早く協議しておく必要があるのではないか。

**答** 執行部としても問題提起が必要であればさせていただきます。

**問** ただ回収するだけでなく、ごみが出ていなければ声かけにより安否確認にもなるのでは。

**答** 全国の例も調査しながら方向性を見出しているかねばと思っっている。

### 質問 高齢者へのごみ出し支援は、自治体が取り組むべきだ



※環境省の資料を基に作成

**問** 合併10年目を迎えた本年、市の財政を1人当たりの借金、貯金に置き換えた場合の金額は。

**答** 平成30年度の決算ベースで借金が1人当たり41万6千円、貯金が29万9千円となる。自主財源が全体の32.4%、依存財源が67.6%である。

**問** 令和2年に国勢調査があり人口減少による地方交付税の減はどの位か。

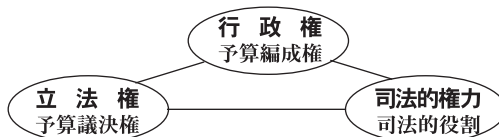
**答** 推計であるが、約4千100人減となり1人当たり約16万円の地方交付税が減少する見込みである。

**問** 今後北海道二セコ町のような「もつと知りたことしの仕事」という



三 角 真 弓

### 地方財政における三権分立



- 制度…監査委員制度、オンブズマン制度  
 運動や参加…①監査請求、直接請求、NGOオンブズマン、行政訴訟  
 ②予算・決算特別委員会における議会ウォッチング  
 ③労働組合の自治研活動  
 ④住民の手による財政白書づくり  
 ⑤自治基本条例や市民参加条約づくり  
 ⑥マスコミやミニコミによる自治体財政に関する記事の掲載

※自治体研究社出版「市町村財政分析」より引用

### 答

新たな地方債（借金）の借入れを抑制し基金の積み立てを行う

将来の人口推計に伴う財政力をどのように考え、何に重点を置くのか

決算のあらまし等中学生でも理解できる財政白書をつくり、市民の司法的権力を促すべきではないか。

**答** 重要であり研究する。公共施設396、指定管理63ヶ所の維持管理費合わせて年間約20億円。将来の財政状況に鑑み計画的に削減すべきでは。

**問** 所管で検討する。各支所での生活相談の質の向上について

**答** 高齢化率が進む3町2村での生活相談への対応に保健師やケースワーカーの支所への配置が必要ではないか。

**答** あらゆる角度で検討

# バイオマス発電所計画はどうなった

**答** 採算性の観点から完全に中止した



森 茂 生



**林業振興について**

**問** 国有林野管理経営法が改正され、今までは20ha程度を毎年度入札にかけていた。これが数百ha、しかも50年間切っいいですよとなっている。国有林を全伐するという発想だ。さらに問題なのは伐採後、植林を義務づけせず、植林することを「申入れ」になっているのでは。

**答** 「申入れ」になっている。国民健康保険について。国民健康保険に子どもが増えるたびに一人分の税金が取られ、まさに少子化に逆行する制度である。だからこそ全国

**問** 国保税の均等割は子どもが増えるたびに一人分の税金が取られ、まさに少子化に逆行する制度である。だからこそ全国

知事会、市長会も見直しを国に求めている。八女市独自でも均等割を減免するべきだ。そのためにはいくらの予算が必要か。

**答** 全額免除したら5200万円の予算が必要である。

**レセプト点検について**

**問** 交通事故の場合、治療費は原則損害保険で見るとはいいが、国民健康保険での治療が優先されるべきだが、国民健康保険財政を圧迫する原因にもなっている。第三者求償を強めるべきだ、そのためにはレセプト点検を強化するべきでは。

**答** 厳正なる審査を続ける。

## 読んでみたくなる紙面とは

〈議会だより編集委員会〉

◆宇美町

福岡市から約15km離れた位置にあり、人口3万7千人強の町である。平成30年度町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞されたこともあり、委員の自信と意欲が感じられた。何よりも、原稿から印刷完了するまで全ての工程で、委員自らの手で行われていることには大いに刺激を受けた。表紙は、タイトルを「こんにちはうみ議会です」と改め、「子どもの笑顔」をテーマに、笑顔いっぱい組写真で構成され、読んでみたくなる工夫を感じさせられる。更には、インタビュ記事に掲載するなど、方針である「手に取って読みたい」なる議会広報づくりを「に通じるところが随所に見られ、大いに参考になった。

◆古賀市

福岡市のベッドタウンとして、人口約5万9千人だが現在も増加しており、元気を感ずる市の一つである。福岡県内議会の中で、議会改革に早くから取り組んでおられ、今回は議会だよりとしての視察ではあるが、期待感をもって伺った。当市と同じく表紙のみフルカラー印刷、その他は2色刷りで、宇美町同様、ほとんどの工程を委員が行っている。年4回の発行ごとに2色刷りの色に変化をつけることで、季節感と新鮮さをもたらすアイデアが加味されている。平成18年には、講師を招き議会だよりのクリエックを受け、研究と改善策を講じていることは感銘を受けた。

《視察を終えて》

両議会に共通することは、常任委員会として議会だよりそのものの意義や存在感あるいは議会における位置づけを、それぞれが明確にしている。また、いかにより多くの人たちに読んでいただけるかを、常に模索しながら熱意をもって研究していることには、驚異と感銘を受けた。当市としても、原点に戻り、議会だよりが、市民の皆さまの期待と楽しみに繋がる存在になるよう、具体的な取り組みを図りたい。



▲視察先にて



県道が崩落した星野村長尾地区

県や市では、復旧事業が着実に進められています。議会としても速やかな復旧を祈念し、復旧事業が確実に実施されるよう注視していきます。

### 《豪雨後の動き》

8月27日

豪雨により被害発生

8月28日

・ 全員協議会において市当局から災害対応状況について説明  
 ・ 議会の対応について協議

8月30日

・ 議長と市長が災害現場を視察

9月9日

・ 建設経済常任委員会において市当局から被害状況について説明

9月10日

・ 災害復旧事業に関する要望活動

9月13日

・ 議長、市長が県知事、県議会議長と災害現場を視察  
 ・ 建設経済常任委員会による災害現地調査

9月20日

・ 全員協議会において市当局から被害状況について説明

## 市内被害状況を確認

### 星野村長尾地区など3ヶ所を調査

〈建設経済常任委員会現地調査〉

○八女香春線、星野村長尾地区で、長さ65m高さ10m(市道を含むと15m以上)が崩落した。

現在、迂回路を通行中であるが、1日も早い復旧が望まれる。

復旧工事は進められているが、今年度いっぱいが必要とのことである。○宮ヶ原堰(頭首工)が河川の氾濫に伴い、流木や転石等により崩壊した。被災延長は40mに及び長野地域内の水田に水を

供給している。被害が大きいだけに、復旧には、2年が必要とのことだった。

○山下地区は、道路から約1.5m近く水位が上がリ、ほとんどが床上浸水であった。

幸い水が引くのが早かったので、7年前程の被害ではなかったそうだが、7年で再度大きな被害は、あまりにも厳しすぎる。一日も早い復旧を願うばかりである。

## 新庁舎建設に向け

### 議会の動きは

〈新庁舎建設特別委員会〉

平成30年12月に、特別委員会でまとめた提言書を提出いたしました。

その中に、何よりも市民第一に、市民のための市民に分かりやすい庁舎を目指し、「賑わい創出」をコンセプトに、経済好循環に繋がる庁舎を目指すことを明記しました。そのことを、基本計画に反映したところです。

その後、改選により、6月に新たな新庁舎建設特別委員会を設置いたしました。

この間、基本設計に必要な事項を中心に、他自治体の新庁舎視察を含め、調査研究し、協議を重ねてきました。

このたび、協議の結果をまとめ、提言書を提出いたしました。



▲宮ヶ原堰



▲山下地区災害ゴミ集積所

## 児童・生徒の

### 安全、安心のために

〈総務文教常任委員会現地調査〉

7月17日学校訪問を行った。  
今年、立花小学校、福島中学校を訪問した。

#### ◆立花小学校

立花小学校は、現在児童数が209名であり、まずプールを見学、建設児童数の減少は歯止めがきかないとのことである。防犯カメラが3台設置されており、安全面で、ことであつた。今のところ不審人物・不審な点はない。

#### ◆福島中学校

福島中学校においては、後40年近くたつており、シーズンが終わってから改修工事が行われるとのことであつた。現在の生徒数は363名である。教育目標は、自らの考えを持ち共に学び合い、豊かな人権覚



▲立花小学校



▲福島中学校プール

実践力を身に付けた生徒の育成を目指している。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談する時間をもっと欲しいという意見があつた。



#### 《調査を終えて》

現場の教師は、児童・生徒のために一生懸命頑張っておられることを実感した。

ただ、スマホ・SNSについては限界があり、そこは保護者及び地域と一緒にあって関心を持つことが必要であり、それこそがコミュニケーションツールではないだろうか。

## 行政施設等の現状は

### 学童保育所など4施設を調査

〈厚生常任委員会現地調査〉

委員会では、所管する行政施設の点検や課題等を随時調査している。

今回は、7月17日に上陽町と星野村の自給肥料供給施設、星野小学校区学童保育所及び星野保育所「星光園」の4施設にて説明を受けた。

#### ◆上陽・星野 自給肥料供給施設

両施設は、し尿の農地還元を目的に建設された。醗酵処理によって生成された液肥が農地に還元されている。

老朽化が進み、上陽の施設は八女中部衛生施設事務組合が建設している



▲上陽自給肥料供給施設

汚泥再生処理センターの完成を機に移行される予定である。

#### ◆星野校区学童保育所

平成27年開設。定員40人。7月1日現在入所者数31人である。駐車場や指導員の労働環境など配慮すべき点がみられた。



▲星野小学校区学童保育所

#### ◆星野保育所「星光園」

当園は、(社)星野保育会が運営する定員60人、7月1日現在入所者数51人の保育所である。

旧園舎が土砂災害区域内であり平成29年度国庫補助を受けて現在地に移転した。将来の入所児の減少が懸念される。



▲星野保育所「星光園」

#### 《調査を終えて》

各施設とも、スタッフの熱意と愛情あふれる指導に安心感を覚えた。し尿処理にかかる環境問題や、児童の安全・安心な環境づくりには不可欠な施設である。

今後調査を進めて各施設の課題解決に尽力していく。

# ハッピーロード大山商店街を調査

## 国土交通省・林野庁で研修

### 建設経済常任委員会

8月19日  
～8月21日



▲国土交通省

## 林野庁

### 森林整備部 森林利用課 森林環境税及び 森林環境譲与税について

我が国の森林面積は、国土の3分の2にあたる約2500万haで、先人の努力により植栽・保育され、きた人工林は、1000万haである。 森林環境譲与税は、今年度から施行し、200億円の内、都道府県に対して40億円を譲与。160億円を市町村分として、私人人工林面積50%、林業従業者数20%、人口30%の譲与基準で配分する。4年目からは、300億円、

## 東京都 板橋区

### ハッピーロード大山商店街 地方との交流による まちづくり

東武東上線大山駅前に位置し、「一生活ぎあいします」をモットーに、加盟211店舗が全長約560mのアーケード内に軒を連ねている。来街者は1日約3万3千人、商圈範囲は約1km程度、来街手段

は徒歩や自転車という近隣型の商店街である。板橋区は、都市部と郊外の中間地で、交通の利便性が良好なため人口増加が続いている。しかし、ネット通販の台頭や若い人の商店街離れなどの課題も

を賃貸、設備投資を行い、従業員を雇用し特産品を仕入販売する独立採算制の経営となっている。とれたて村の事業内容は、常設店舗での特産品の販売、ふるさとイベントの実施、提携市町村と地元住民の交流などである。現在、全国13市町村が参加している。住民の多くが地方出身者であることから、この事業は、地方の市町村、商店街、板橋区の相互に利益があり、それぞれの活性化に貢献する注目のべき仕組みが構築されていた。

## 国土交通省

### 水管理・国土保全局

#### 最近の治水行政について

#### 治水課

多いことから、様々な事業の取り組みがなされている。その中に、全国ふれあいショップ「とれたて村」がある。

近年、時間雨量100mmを超える降雨の回数が増加し、毎年のように全国各地で水害が頻発し、甚大な被害が発生している。今年度の治水事業等関係費予算は、1兆413億円、平成10年度の約53%となっている。

#### 《八女市にどう活かす》

大山商店街振興組合運営の「とれたて村」との連携による、八女市の文化や特産品を宣伝すること、農林商工業などの振興の一助になるものと考えます。国土交通省では、市内の浸水、冠水の現状を伝え、中小河川整備への助成制度創設を要望した。林野庁では、今年度よりはじまる森林環境譲与税の配分に関して、森林面積比率の増強見直しを要望した。



▲全国ふれあいショップとれたて村

商店街と農山漁村との交流による双方の活性化を目指し、商店街組合が事業者となり、空き店舗

を賃貸、設備投資を行い、従業員を雇用し特産品を仕入販売する独立採算制の経営となっている。とれたて村の事業内容は、常設店舗での特産品の販売、ふるさとイベントの実施、提携市町村と地元住民の交流などである。現在、全国13市町村が参加している。住民の多くが地方出身者であることから、この事業は、地方の市町村、商店街、板橋区の相互に利益があり、それぞれの活性化に貢献する注目のべき仕組みが構築されていた。

# 市民と議会の

# 意見交換会

あなたの声をお聴かせください

八女市議会では、市民の皆さまからのご意見をお聴きし、市政に反映していくことを目的に市民と議会の意見交換会を開催いたします。

申込不要

いずれの会場も 午後7時～

どの会場にご参加いただいても結構です。

地区名				月 日	会 場	担当
黒木	黒木	豊岡	串毛	11月11日 (月)	黒木支所大会議室	3班
	木屋	笠原	大淵			
星野	星野			11月12日 (火)	星野支所大集会室	3班
旧八女	福島	三河	八幡	11月13日 (水)	おりなす八女 はちひめホール	1班
	岡山	長峰	上妻			
	川崎	忠見				
上陽	上陽			11月14日 (木)	上陽公民館	1班
立花	光友	辺春	北山	11月20日 (水)	立花市民センター イベントホール	2班
	白木					
矢部	矢部			11月21日 (木)	矢部公民館	2班

- ◎班長 ○副班長  
カッコ内は常任委員会
- ◎森 茂生 (総務文教) [1班]  
○川口 誠二 (厚生)
- ◎萩尾 洋 (厚生) [2班]  
○高橋 信広 (厚生)
- ◎橋本 正敏 (建設経済) [3班]  
○田中 栄一 (厚生)
- 青木 勉 (建設経済)  
牛島 孝之 (総務文教)  
三角 真弓 (厚生)  
井上 賢治 (総務文教)  
松崎 辰義 (建設経済)  
栗山 徹雄 (建設経済)  
栗原 吉平 (総務文教)  
寺尾 高良 (総務文教)  
堤 康幸 (建設経済)  
高山 正信 (厚生)
- 石橋 義博 (建設経済)  
川口 堅志 (建設経済)  
服部 良一 (総務文教)  
中島 信二 (厚生)  
大坪久美子 (総務文教)  
大坪久美子 (総務文教)

# 7月臨時会で審議した議案の賛否

○ 賛成 ● 反対

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	中島 信二	高山 正信	青木 勉	川口 堅志	橋本 正敏	田中 栄一	堤 康幸	高橋 信広	石橋 義博	牛島 孝之	萩尾 洋	服部 良一	大坪久美子	寺尾 高良	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	井上 賢治	川口 誠二	松崎 辰義	角田 恵一
報告第5号	報告事項のため、採決はありません																					
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	※

※議長職のため採決には加わりません

# 9月定例会で審議した議案の賛否

○ 賛成 ● 反対

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	中島 信二	高山 正信	青木 勉	川口 堅志	橋本 正敏	田中 栄一	堤 康幸	高橋 信広	石橋 義博	牛島 孝之	萩尾 洋	服部 良一	大坪久美子	寺尾 高良	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	井上 賢治	川口 誠二	松崎 辰義	角田 恵一
報告第6号																						
報告第7号																						
報告第8号																						
報告第9号	報告事項のため、採決はありません																					
報告第10号																						
報告第11号																						
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため採決には加わりません



## 7月臨時会で審議した議案の結果

報告第5号	平成30年度八女市水道事業会計予算超過支出の報告について	報告
議案第55号	工事請負契約の締結について	可決

## 9月定例会で審議した議案の結果

報告第6号	株式会社クリエイトやべの平成30年度決算及び令和元年度事業の計画の報告について	報告
報告第7号	一般財団法人星のふるさとの平成30年度決算及び平成31年度事業の計画の報告について	報告
報告第8号	一般財団法人秘境柚の里の平成30年度決算及び令和元年度事業の計画の報告について	報告
報告第9号	一般財団法人FM八女の平成30年度決算及び平成31年度事業の計画の報告について	報告
報告第10号	平成30年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
報告第11号	専決処分について（事故による損害賠償）	報告
議案第56号	八女市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第57号	八女市民会館条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第58号	八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第59号	八女市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
議案第60号	権利の放棄について	可決
議案第61号	財産の減額貸付けについて	可決
議案第62号	市道路線の変更について	可決
議案第63号	令和元年度八女市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第64号	令和元年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第65号	公平委員会委員の選任について 《廣津 洋吉》	同意
認定第1号	平成30年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成30年度八女市水道事業会計決算の認定について	認定
議員提出議案第1号	国道3号広川～八女バイパスの早期完成を求める決議について	可決
八女市選挙管理委員会委員の選挙 《大石 勝宏、穴見 英樹、那須野 信、江頭 弘之》		当選
八女市選挙管理委員会補充員の選挙 《大津山 篤、木下 貞雄、内藤 啓光、栗原 正嗣》		当選
人権擁護委員候補者の推薦について 《古川 正二、近藤 義夫、草場 せつ子、平島 豊彦、東 リツ子、酒井 龍彦、中津留 千鶴子》		適任と認める

# スマートフォン・タブレット端末で 議会中継を見ることができます

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後4日程度(土・日及び祝日を除く)で見ることができます。スマートフォンやタブレット端末でも見ることができますので、ぜひご覧ください。



インターネットで「八女市議会」を検索  
「議会インターネット中継」をクリック!  
<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>

## 議会を傍聴しませんか?

市政の動きを知るために、ぜひ議会を傍聴ください。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧いただくことができます。事前予約はいりません。どなたでも傍聴できますので、みなさまのお越しをお待ちしております。日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame\_city\_gikai@city.yame.lg.jp



### ～9月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声をご紹介します。(原文のまま記載)

- 議場が寒い
- 答弁する執行部の肩書だけでなく個人名が知りたい。職員名の入った名簿を用意してほしい。職員は地域のスターであってほしいという思いからのリクエストです。名前がわかると親しみが増します。
- 一般質問に対し、答弁側の回答が不透明で理解できない。
- 22名(議長除く21名)で一般質問9名は少し淋しい。会派等の代表質問でも行って問題提起してほしい。

## 編集後記

日本は、人口減少、少子高齢化が急速に進む中で「人生100年時代」を迎えています。わが国の平均寿命(2018年)は男性が81・25歳、女性が87・32歳で、近年は過去最高を更新し続けています。これからの長い人生をどう生きていくのかは、お一人お一人にとって大事なテーマだと思えます。その根幹となる教育が非常に重要で、日本の教育レベルは高い方ですが、教育は「国家百年の計」であるし、資源のないわが国にとっては人材こそ宝で、この「人材」を大切にしなければならぬと考えます。

また、自助・共助・公助といいますが、社会保障という「公共」を手厚くすることが難しい現状では、まず「自助」で自分のことは自分で

日本は、人口減少、少子高齢化が急速に進む中で「人生100年時代」を迎えています。わが国の平均寿命(2018年)は男性が81・25歳、女性が87・32歳で、近年は過去最高を更新し続けています。これからの長い人生をどう生きていくのかは、お一人お一人にとって大事なテーマだと思えます。その根幹となる教育が非常に重要で、日本の教育レベルは高い方ですが、教育は「国家百年の計」であるし、資源のないわが国にとっては人材こそ宝で、この「人材」を大切にしなければならぬと考えます。

また、自助・共助・公助といいますが、社会保障という「公共」を手厚くすることが難しい現状では、まず「自助」で自分のことは自分で

大坪 久美子



## 次回定例会 11月27日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時から

議長	角田 恵一
執行責任者	
議会だより編集委員会	
委員長	高橋 信広
副委員長	大坪久美子
委員	松崎 辰義
委員	井上 賢治
委員	牛島 孝之
委員	堤 康幸
委員	田中 栄一
委員	川口 堅志
委員	高山 正信

